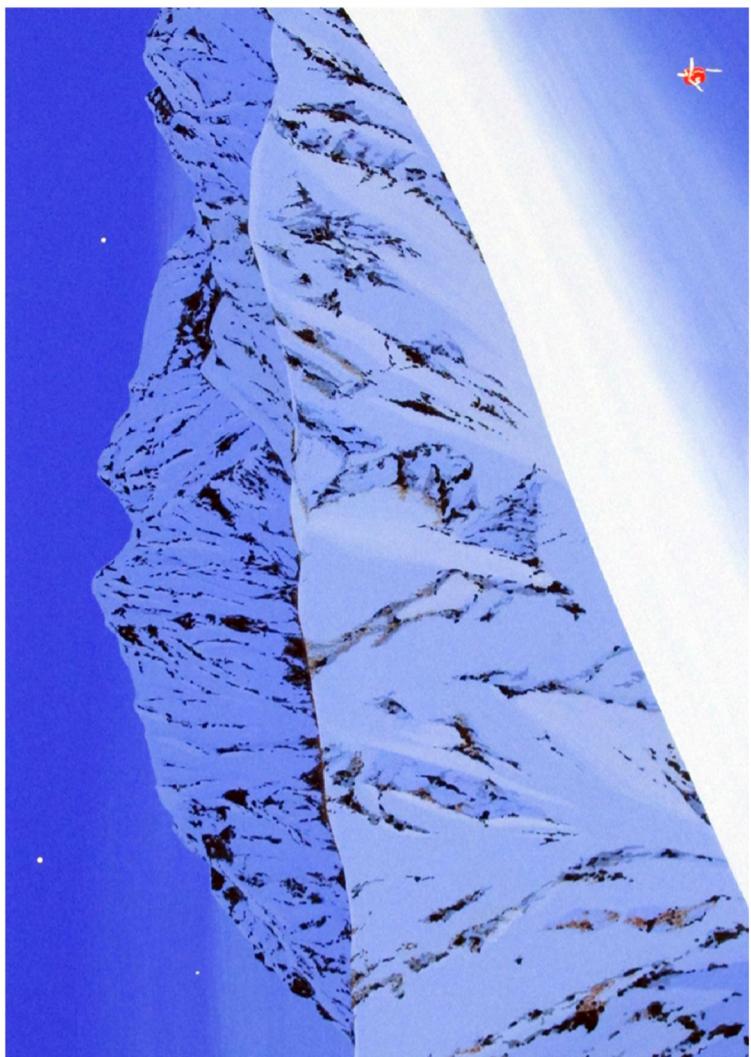
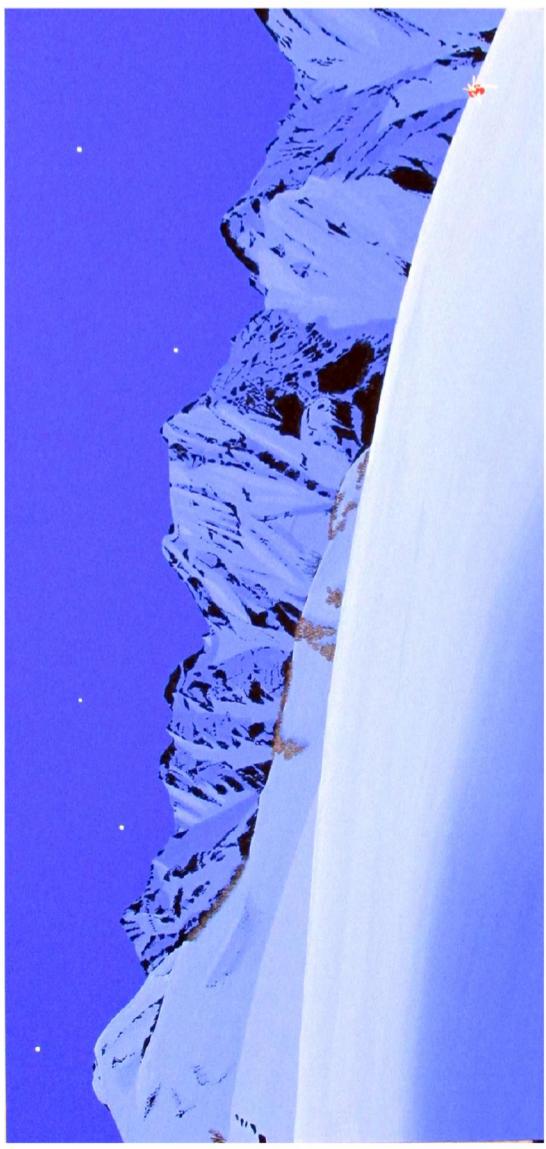


雪 緋 賛 歌



プロフィール

1956 北海道川上郡弟子屈町に生まれる
83 旅の途中立ち寄った信州に移り住む
87 シルテント工房を設立 オリジナルテント
98 民族天幕の制作を開始
2000 05 絵画の制作を開始
ネハースケッチ旅行



＜個展暨＞

佐々木 修 絵画展

2014. 10. 28 (火) - 11. 3 (月)

10:00AM - 6:00PM (最終日5時迄)

松本中町蔵シック館

長野県松本市中央二丁目9-15

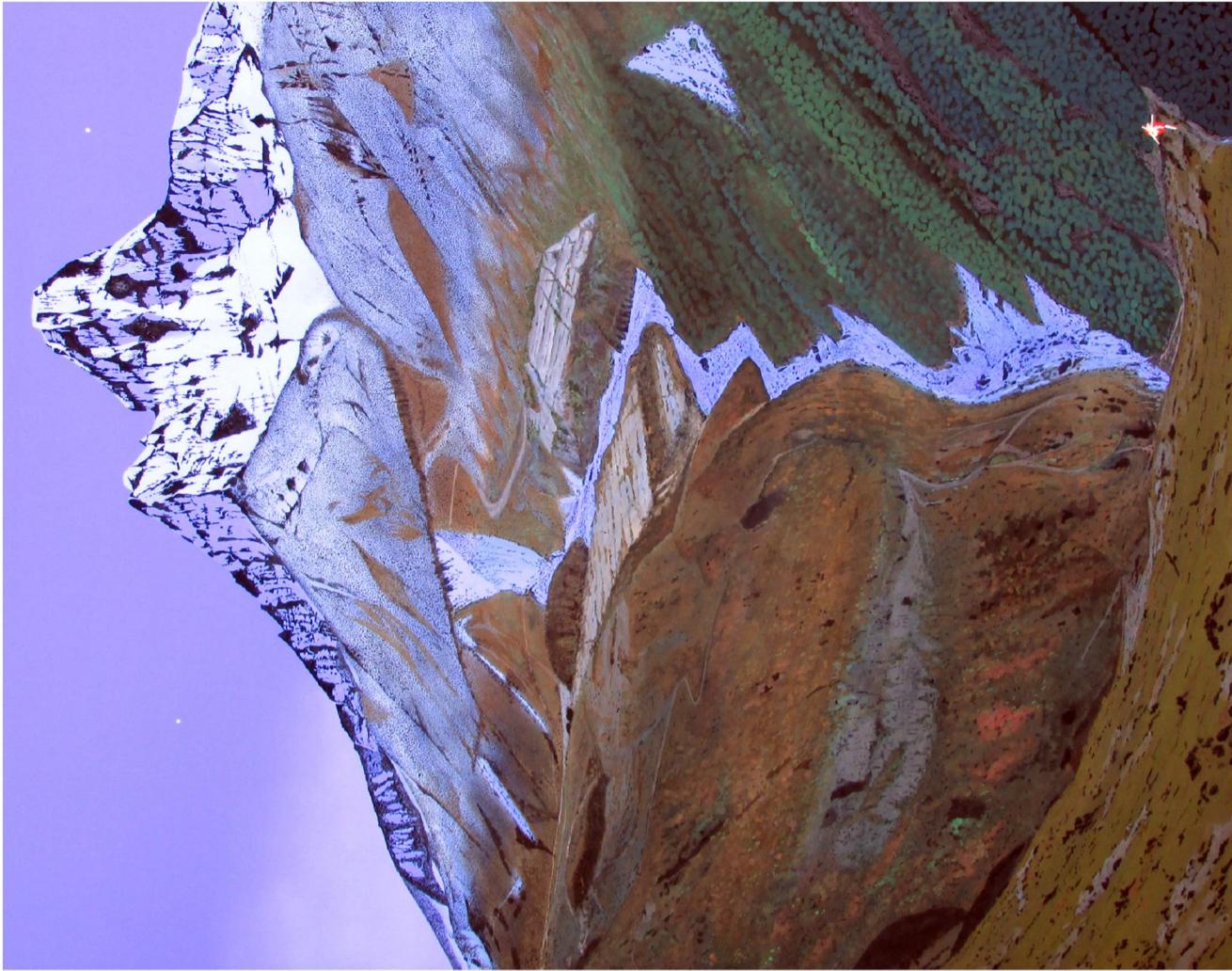
Tel. 0263-36-3053

〒399-8211 安曇野市堀金カラス川5603-1

Tel 090-8102-9856

無所属

アトリエ



Ama Dablam

母の首飾り

厳冬期 非常事態宣言下のネパール
エベレスト街道は人影も少なく
静かな山道を 美しくも莊厳な山に
見守られた 旅だった

長く降り続いた雪も やっと止み 月に
照らし出された雪原は キラキラと輝き
星のような明るさだ
そして幻想的な 美しさである

星 雪 山 そんな絵を描き続けているのは
この少年時代の体験が 大きな要因
になっている様だ
最近つとにそんな事を感じている
限りなく美しい雪や山 そして宇宙を感じる
星や月 そういうものに出会う事や
描く事が楽しくて仕方が無い そしてこの
厳しくも楽しい行為は これからも
長きに亘り続きそうである



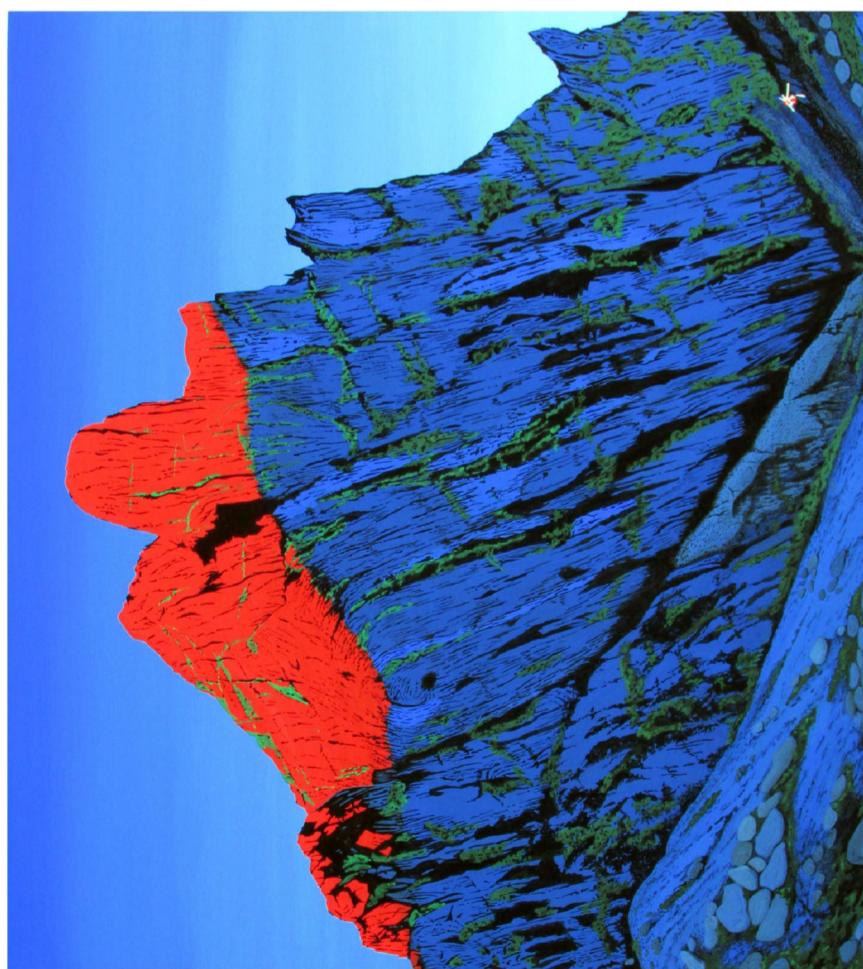
常念岳



蝶ヶ岳

我家の裏に鎮座する常念岳
松本や安曇野のシンボルである
常念は何かと絵に描く機会が
多いのだが、隣の蝶ヶ岳は今回
初めて描いた。控えめで品が良い、
山容に加えて美しい響きを持つ山
である。

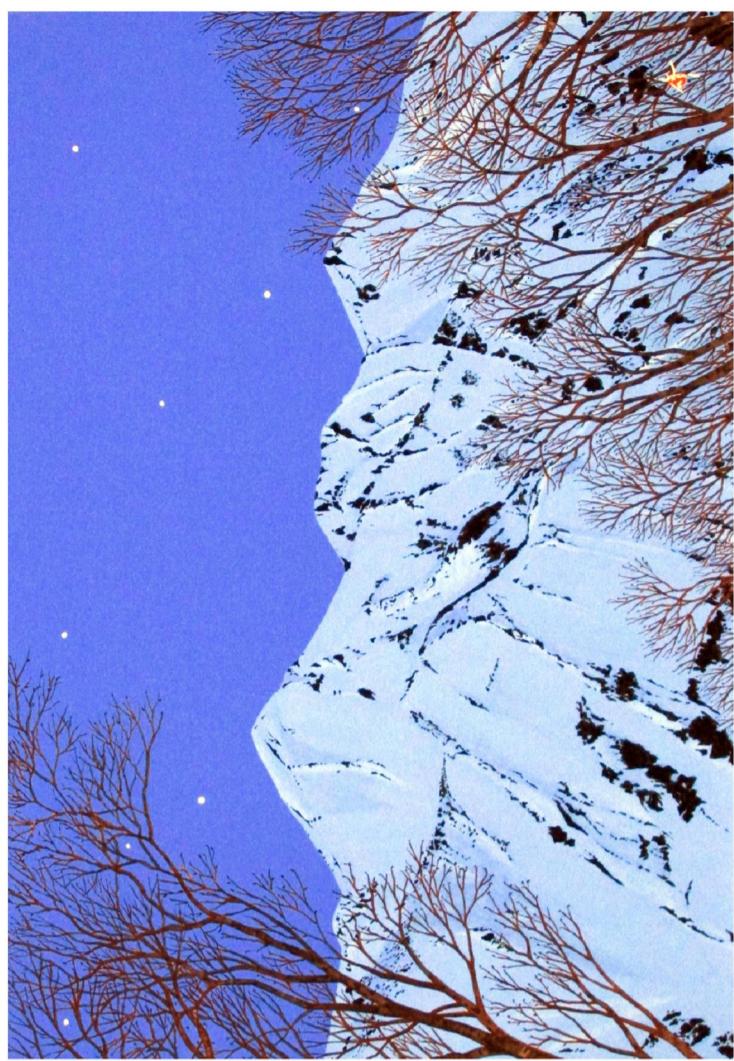
田植えが終わる頃には、名前の由来
にもなっている、残雪のタテハ蝶が
姿を現す。稜線にそつと留まる
そのシルエットが事の他美しい



ジャンダルム

山好きを自称しているが、人の多い
穂高へは、足を向けた事がなかった。
数年前、友人に誘われて、初めて
穂高を登った。
翌日、西穂高へと縦走したのだが、
稜線に聳えるジャンダルムの美しさに
目を奪ってしまった。

信州 飛騨 どちらにも切れ落ちる
この険しくも、美しい岩峰は
又いつの日か、そつと訪ねてみたい
ところである。

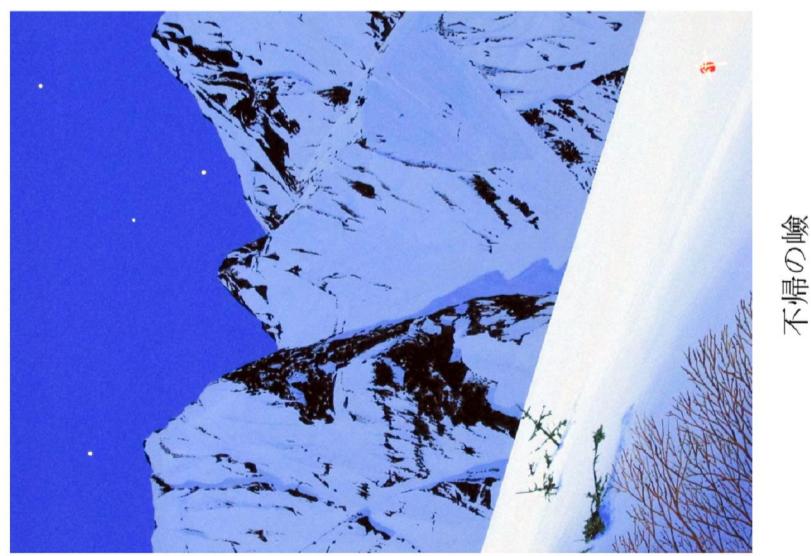


白馬三山

春先の山を訪れる事は多い
スキーを担いでの登高である
最近は体を考えスキー場から
ハイクアップする事もよくあるのだが
2～3時間も登ると里とは
又違った世界に出会える
滑る事は勿論楽しいのだが
この美しい景色に出会える事が嬉しい
そして生きている という事を
素朴に感じさせてくれるのである



月光



不帰の嶮

佐々木 修 プロフィール

1956	北海道川上郡弟子屈町に生まれる
83	旅の途中立ち寄った信州に移り住む
87	シルテント工房を設立 オリジナルテント 民族天幕の制作を開始
98	絵画の制作を開始
2000 2005	ネパールスケッチ旅行

<個展歴>

1999 01 03	安曇野山光ホール
01 05	東京町田 天空の舞い
03	東京世田谷 けやき美術館 松本 ル・コパン一年間常設展
2004 08	札幌 石の蔵ぎやらりい
06 07 12	松本 中町蔵シック館
10	長野 ひとミュージアム美術館
11	東京熊谷守一美術館にて二人展
2014 10	松本 中町蔵シック館 無所属

アトリエ 〒399-8211 安曇野市堀金カラス川5603-1
Tel 090-8102-9856